

ハンド九州一般選手権

ハンドボールの第61回九州一般選手権兼第55回九州女子クラブ選手権大会最終日は11日、豊見城市民体育館ほかで行われ、県勢対決となった男子決勝は興南B I Cが丸松建設を

30-23で破り、昨年決勝の雪辱を果たした。女子決勝は初出場で沖縄代表のKCがHC宮崎に21-22で敗れ、準優勝だった。男子の興南B I Cと丸松建設に続き、女子のKCもジャパンオープン(8月・青森県)の出場権を得た。

【男子】  
▽準決勝  
丸松建設 35-18 北送会(長崎)  
興南B I C 31-30 宮崎フェニックス  
▽決勝  
興南B I C 30(16-13)23 丸松建設

【女子】  
▽準決勝  
K C 23-22 コスモスビッキーズ(大分)  
▽決勝  
HC宮崎 22(12-9)21 K C

# 興南BIC頂点 宿敵破る

## ハイライト GK内田好セーブ連発

2年連続同一カードの沖縄対決となった男子決勝で、興南B I Cは元琉球コロンG Kの内田武志が好セーブを連発した。前へ出て相手に近づき、胸や腹にシュートを当ててシュートを阻む気迫のプレーで仲間を鼓舞。丸松建設に雪辱を果たし、「やっと勝てた」とほっとした表情だった。のんびりとした雰囲気の内田だが、試合では一変する。手足より体で当ててボールをはじき返した。「シュートコースが見えていたし、位置取りも良かった」と振り返る。守備陣も連携した。シュートの難しい両サイドに相手を追いやる、身長1米90の内田が前に出てさらにコースを狭めた。坂本好誠は「コートプレーヤー6人の守りの形が良く、自分やサイドの選手が走って得点した」と、好セーブを攻撃につなげた。この1年、負けが続いていたライバルに勝利し、チームには笑顔が広がる。内田は出場権を得たジャパンオープンに向け「昨年3位の成績を超えたい」と気合を入れた。(又吉健次)



男子決勝 興南B I C-丸松建設 後半、興南B I Cの坂本好誠が17点目のシュートを決める=豊見城市民体育館(宮城真浩撮影)



男子優勝の興南B I C



男子準優勝の丸松建設

### 丸松建設 連覇逃す

県勢対決敗れる

連覇を目指した丸松建設だったが相手の守備に阻まれ、流れをつかめなかった。運動量を生かしてゴール前に迫ったが、相手GKの正面に打たされた。得点できない時間が続き、後半途中で最大11点差をつけられた。柳原義隆監督は「相手GKのファイブプレーからリズムを奪われた。ディフェンスから速攻というチームの武器は出せたが、得点につながらなかった」と語った。(天願社史朗)

前半、丸松建設の緒方本太がシュートを放つ



# KC準V 地元で躍進



## 意地の追い上げ及ばず

初出場のKCが、地元開催の九州大会で準優勝と躍進した。東京五輪元日本代表・原希美のいる宮崎HCに21-22の惜敗。4得点でチームを引っ張った我那覇真穂は「1点差で負けて悔しいけれど、次につなげる。結果はシンプルにうれしい」と準優勝を喜んだ。走って流れをつくるのが特長のKCだが、2027年開催の国スポに向けて強化が進む強豪を攻めあぐねた。相手の守備の対応に時間を割かれ、スピードを生かせなかった。



それでも意地は見せた。GK平良亜都彩が「小柄なので反射神経を研ぎ澄ませ」とシュートを阻止。連攻から得点につなげて猛進するも、あと一歩及ばなかった。

女子決勝 KC-HC宮崎 前キ、1点目のシュートをめぐるKCの上原美菜(又吉健次撮影)

創部から10年。選手がそろわず、4人で練習した時期もあった。平良は「よくぞここまでチームが成長したと思う」と感慨深かった。(又吉健次)

# 申ジエ優勝 PO制す

### 国内女子ゴルフ

サロンパス杯

### 山城、6位健闘

ワールド・サロンパス・カップ最終日(11日・茨城県茨城G C-6675F、パー-72) 2打差2位から出た申ジエ(韓国)が3で回り、通算7アンダーの281で並んだ藤田さい

きとのプレーオフを制して7年ぶり2度目の優勝をした。日本ツアーのメンバーとしては通算29勝目となり、30勝が条件の永久シード取得へあと1勝に迫った。荻原ルミが通算6アンダーの3位。5アンダーの4位はイ・ミニョン(韓国)で、山城奈々は3アンダーの6位と健闘した。(出場68選手=アマ1、晴れ、気温25.2度、西北西の風3.2m、観衆9752人)



# スーパーショットで決着

ピンを刺すようなスーパーショットで37歳の申ジエがベテラン同士の熱戦に終止符を打った。18番(パー-5)でのプレーオフ1ホー

世界ランキング1位の実力者が底力を発揮した。生涯獲得賞金はツアーで初めて14億円を突破し、あと1勝で史上

最終成績(パー-72)

①申ジエ	-7	281(71)	70	67	73	-36	37
②藤田さいき	-6	281(69)	72	68	75	-39	36
③荻原ルミ	-6	282(69)	70	72	71	-36	35
④イ・ミニョン	-5	283(69)	71	75	69	-33	36
⑤全美貞	-4	284(69)	71	74	70	-33	37
⑥荒木優奈	-3	285(73)	70	69	74	-34	33
⑦山城奈々	-2	285(73)	69	74	74	-34	36
⑧朴炥柱	-2	286(69)	74	73	70	-34	36
(R:R=1:197:1)		286(71)	72	72	74	-34	38